

The KH i-Lab Times

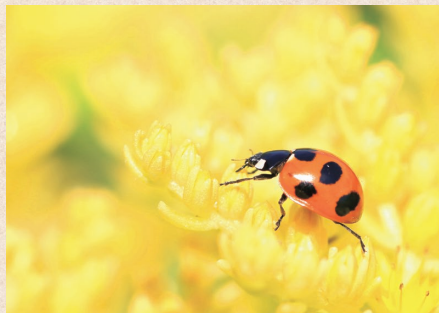
今回のPIPELINEからKH i-Labタイムズの連載が始まります。普段、KH i-Labでどんな業務に励んでいるかを社員の皆さんに知っていただくとともに、現在の社会課題に対してKHネオケムがどんな形で貢献できるかを一緒に考えるページにしたいと思っています。定期企画の予定ですので楽しみに!!

注目技術

昆虫食の時代が来る?

イノベーション戦略室(イノベ室・以下略)では、社会課題に対してKHネオケムがどう貢献できるかを考えています。人口の増加から懸念される食物不足もその1つです。例えば、多くの人々がタンパク源として食べている家畜ですが、人口に伴い数が増え続け、それが温室効果ガスの増加や水不足の一因として問題視されています。

タンパク質を取るためには、豆類などの植物を食べることで可能ですが、現在注目されているのが昆虫食。昆虫は良質のたんぱく源として活用できる上、餌や水が家畜を育てるよりも少なく済みます。また、排出される温室効果ガスも少ないといういいところづくめ。昆虫



注：写真はイメージです。テントウムシが好んで食べられているというわけではありません。

食が一般的になる時代は近いかも？もしそうなった場合、昆虫をより良く育てるために必要な素材、例えば行動や繁殖をコントロールするためのフェロモンが使われるかもしれません。そこにKHネオケムの化学合成技術が応用できないかといった風に、イノベ室では未来の可能性を模索しているわけです。皆さんも一緒にディスカッションしてみませんか？

KHネオケムらしいオープンイノベーション

多くの企業で推進されているオープンイノベーション。人財や技術などの自社リソース不足を補い、新しいことに着手する手段として活用されています。そこで考えるのは、自社らしさを出したオープンイノベーション。それでは、KHネオケムらしいオープンイノベーションとはどんなものでしょうか？高圧オキソ技術をうまく活用すること？それとも質実剛健な案件をすすめること？なかなか答えが出ない課題です。

新規事業を立ち上げる!

イノベ室の最大のミッションが新規事業立ち上げです。新規事業と言っても、イノベ室が主に目指すのは新市場向けの新製品開発。ご想像のとおり、一番ハードルが高いと思われる新規事業となります。そのためにメンバーがおこなっているのは、日々のディスカッションです。とにかく自分の頭の中を常にアクティブにして、いろいろな情報を取り入れて意見交換をしています。

イノベーションは一朝一夕にしてならず

「イノベ室は一体何をやってくれるのだろうか？」と、訝しく感じているかたも多いと思います。2030年に振り返ったとき「イノベ室があって良かったな」(=儲かって、よい飯をずっと食っていける)と思っていただけるような新規事業を構築していきたいと考えています。イノベ室内ではヘルシーコンフリクト(Healthy Conflict:健全なる対立)、セレブレートフェイチャー(Celebrate Failure:失敗を言祝ぐ)を二大指針としています。ダリやルソーのような奇人はおりませんが、さまざまな活動を通じて、皆さんと一緒にイノベ室を盛り上げることができればと思います。

KH i-Lab News

高橋社長が1月にKH i-Labを見学されました。施設の活用はまだまだこれからというところではありますが、KH i-Labの将来性は感じていただけたようです。「困ったことがあれば何でも相談してほしい」と仰っていただき、イノベ室メンバーの励みになるとともに、社長表彰のグランプリ受賞を目指して決意を新たにしました。



イノベの書棚から



1兆ドルコーチ-シリコンバレーのレジェンドビル・キャンベルの成功の教え

エリック・シュミット、ジョナサン・ローゼンバーク、アラン・イーグル著(2019)
櫻井 祐子訳、ダイヤモンド社

ジョブズの師匠であり、グーグル創業者達を育て上げた伝説のコーチ、ビル・キャンベル。タイトルのインパクトに比べ内容はオーソドックス。信頼や当事者意識など、成功の秘訣はやはり「人がすべて」。分かっているでも実行は難しいかもしれませんが、あらためて学ぶべきところあります。

おしえてイノベ室

スタートアップの成長段階を投資ラウンドと呼び、次の5つに分かれています。
シード：法人設立前や具体的な製品が決まっていない段階。
アーリー：事業立ち上げ段階。
エクспанション(ステージA)：事業を本格的に進める段階。赤字必至の段階。
グロース(ステージB)：事業が軌道に乗り始める段階。黒字化し始める企業もある。
レイター(ステージC)：経営が安定してくる段階。
イノベ室は各段階の様々なスタートアップとディスカッションしています。